

2025 年度 各部会の活動概要

- VEに関する情報交換の場 -

VE情報交流部会

対象者: VE導入や新規活動を考えている方、これから担当される方

主 査: 高橋 均 [ライフバリュー・クリエイト株式会社 代表取締役]

VE 情報交流部会は「支部活動の入り口」として設けられた部会で、今年で4年目になります。VE の導入や推進をする上で生じる疑問や課題に関し、参考となる情報を求める方を対象としています。さまざまな企業文化や職務環境下のメンバーが集まるため、普段触れることのない情報や視点の異なる考え方に触れることができます。当部会は、そのような有形無形の情報やアドバイスをもち帰り、皆さんの仕事に活かすことを目的としています。また、これまでも当部会の活動から共通した課題を持つ企業間の交流も生まれています。2025年度も皆さんの課題や疑問を聞き、テーマを設定して自由にディスカッションしていきたいと考えています。VEの導入を検討中の方や東日本支部の部会活動に初めて参加される方は、当部会を通して協会や支部の活動を知り、自分たちのニーズに合った部会へとステップアップされると良いでしょう。

【質疑・討議のレベルを合わせるため、VES・CVS資格をお持ちの方の参加はご遠慮ください】



- VEの普及定着と推進ノウハウ -

VE推進部会

対象者: VE活動の推進、人材育成・教育研修などに携わる方

主 査: 内村 浩之 [株式会社ミツバ 事業統括部]

VE の普及推進を目指し、毎月一度、メンバー各社の VE 推進担当やコンサルタントが集まり、課題と施策について2つの研究会で議論する場を設けています。「VE 普及推進研究会」では、VE 普及・推進における困りごとや課題を共有し、その解決策を議論しています。

「VE 実践活用研究会」では、VE 実践場面における困りごとや悩みごとを共有し、具体的な対処方法や施策について討議を進めています。メンバー同士の意見交換や事例紹介を通じて、実践に役立つ“ヒント”や“気づき”を得ることができます。

VE 初心者の方も大歓迎です。ぜひ一緒に価値あるものを創造するための研究をやりましょう！GIVE&TAKE の精神で”楽しく”をモットーに！！【初回会合: 4月 22 日 (火) 14:00~17:00】



- プロモーションとVEの接点 -

マーケティング部会

対象者: マーケティングやVEに関心のある方(未経験者歓迎)

主 査: 清水 弘幸 [アットマーク・コンサルティング合同会社 社長]

当部会では、VE を活用したマーケティングの研究を行っています。2025 年度からは「感性価値」を取り上げ、VE プロセスやマーケティングプロセスへの活用を目指します。

昨今、「感性」による価値が商品やサービスの企画やプロモーションに大きな比重を持つようになってきました。あらためて「価値」について学びなおし、理解を深め、皆さんの実務に活かせるようにしていきたいと思えます。初年度は、「感性価値とは何か」を活用事例や論文などの情報収集を通して理解し、目標や進め方などを具体的にしていき、その後、「感性価値の指標化」や「感性価値による(AIを使った)市場分析」などについても学んでいきたいと思っています。VE はもとより、「感性価値」や「マーケティング」の未経験者の方でも OK です。一緒に学んでいきましょう!!

【初回キックオフ】4/16(水) 13:00-15:00: オンライン会議(原則毎月第3水曜 13:00-15:00)



- 目指せ VEイノベーション! -

R & D 部会

対象者: 新しいVE手法の創造、VEの実践、研究開発・設計部門の方

主 査: 渡邊 清彦 [アズビル株式会社 アクチュエータ開発本部]

当部会は、R&D 実践の場面で有効となる新たな方法や手法の研究・開発に取り組んでいます。昨年度は、生成AIを活用した新規性の高いアイデア発想が可能であるかの研究を進めた結果、機能系統図自体を生成AIで作成し、それをもとにアイデアを抽出することが有効であるということがわかってきました。

今年度も生成AIとVEの融合の研究を継続し、「生成AIを活用したVEの取り組み研究～VEに生成AIはどこまで使えるか～」をテーマに活動を行います。機能定義段階や代替案作成段階における取り組みに生成AIは有効なツールになると考えています。

2025 年度は、昨年度に実施した機能定義段階の活動のまとめとアイデア発想や具体化の活動に対する効果的な生成AIの活用方法を研究し、新たなVEプロセスの探索を行います。オンライン会議を前提に、ハイブリット会議も予定しています。初めて参加される方も大歓迎です。

(原則毎月第3金曜日 14:00~17:00 です) 【初回会合: 4月 18 日 (金) 14:00~17:00】



－ ものつくりの未来を見通す －
ものづくり部会

対象者: サプライチェーン全般における「ものづくり」に携わる方

主 査: 下村 盛章 [パイオニア株式会社 MPC原価企画室]

“工場/施設見学会・技術交流会”を活動の柱に、人口減少時代のものつくりを模索していきます。
2024 年度に引き続き、工場見学・技術交流会を中心に、現場に「行って」、現物・現実を「観て」、原理・原則などを「考える(学ぶ)」という部会です。時代に合わせて、遠方とつながることができるオンラインも取り入れ、企画に応じて、現地見学、オンライン、ハイブリットを使い分けて活動します。
板金、切削、樹脂加工、組立ライン等だけでなく、視野を広く化学製品、リサイクル、物流など幅広い分野を扱います。別の分野にこそ創造のヒントがあります。ものづくりに関心があり、異業種からヒント得たい方など、知識・経験のレベルを問わず幅広く参加を募ります。

工場/施設見学会・技術交流会

- ・工場/施設見学、先進企業の新技術、製品、取り組み紹介と意見交換
- ・ものづくりを中心に、自動化、DX、原価企画、物流などに関係する企画を検討

ものづくりに関する勉強会

- ・メンバーの希望を募り、ものづくりに関わる新たなテーマに関する勉強会を開催



－ 調達の問題を解決 －
資材調達部会

対象者: 調達の実務経験がある方(企業 OB を含む)、VE推進部門の方

主 査: 渡邊 忠一 [三菱電機株式会社鎌倉製作所 資材部原価企画VEセンター]

資材価格の高騰をはじめ、部品不足やSDGs への対応、人手不足等、最近の調達を取り巻く環境の変化は著しく、その課題は高度化、複雑化しています。当部会は、調達・購買業務に携わる方々を対象に活動しています。2023年度からは、メンバーの調達関係の困りごとをVEにこだわらず持ち込んでもらい、解決に向けてチーム形式で情報交換し、解決への糸口や気付きを得ています。

この方式が好評のため、2025年度も同様にVEにこだわらず部会メンバーの「調達に関する悩みごと、困りごと、課題」などをお伺いし、さまざまな業界、年代、立場のメンバーが所属する当部会の特徴を生かして解決に向けた意見交換をしていきたいと思っております。「調達」に関するお悩みを抱えている方は、ぜひ、この部会にご参加ください。情報交換を活発に行いながら、業務上の課題を解決していきましょう！

※部会の性格上、調達の実務経験がある方、またはVE推進部門の方のご参加を推奨しています。



－ 事業戦略からまちづくりまで －
社会インフラ部会

対象者: 製造・サービス・建設など、社会インフラ全般に携わる方

主 査: 井之川 英正 [株式会社浅沼組 東京本店不動産管理部]

あって当たり前で誰がつくってくれたのか考えることもない公共インフラや、社会的に支持されている製品・サービス等の、身近で具体的な事例を題材にして、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。参加者相互の情報交換と、情報の分析からアイデア発想に至る技法の学習・実践を通じて、VE活動に必要な感性とスキルを高め、それぞれの立場を通して社会に貢献することを目的とします。

(A)「企業ケース検討会」

優れた戦略やイノベーションで躍進する企業の、経営戦略と戦術、ノウハウをVEに取り込む手法・手順を検討します。メンバー全員が戦略体系図を作成することで、自ら携わる新たな商品やサービスのありようを顧客・ユーザーの多様な考え、嗜好に基づいて考える力を育てます。

(B)「建設VE研究会」

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するため、実際の施設をケーススタディし、運営関係者との情報交換や交流機会をつくり出します。第三ステージとなった「道の駅」の課題抽出と運営改善をテーマに、さまざまなVE関連技法を試行し、公共事業の改善や多様な考えを取りまとめ合意を形成するノウハウを共有します。皆で学びながら進めていきますので、初心者の方でも気軽にご参加ください。



東日本支部

* 支部長

* 副支部長

運営委員会 (支部長・副支部長、部会主査・副主査で構成) ←

※ ミッションは支部年間計画の承認と進捗管理 ←

運営企画会議 (支部長・副支部長・部会主査で全体調整を担当)

部会

① VE情報交流部会

② VE推進部会 ←

③ マーケティング部会

④ R&D部会 ←

⑤ ものづくり部会

⑥ 資材調達部会 ←

⑦ 社会インフラ部会 ←